

石岡市の行財政改革の取り組み状況

～令和2年度見直し版 石岡市行財政改革実施計画進捗状況～

1 行財政改革の取り組みについて

第2次石岡市行財政改革大綱に掲げるテーマ「行政資産の強化と公共サービスの最適化」の実現を目指し、4つの取組方針、46の実施項目を掲げ、毎年度ローリング（見直し）を行っています。

令和元年度実施率 **93.5%**

取組項目 46項目中、43項目実施中



2 主な実施内容

1. 財政運営の充実

実施率 89.4%

事務事業の見直しにより、ムリ、ムダを省き、財源の確保やコスト削減をすることで、持続的な財政運営を行える体制を作ります。

- (1)-① 公共施設等総合管理計画の推進
(全ての施設類型に対する個別施設計画を策定完了)
- (1)-⑤ 道路施設の長寿命化計画の推進
New (「石岡市舗装修繕計画(個別施設計画)」の策定完了)
- (3)-③ 施設維持管理費の縮減(ふれあい農園)
New (宮部地区農園の一部返還) など

2. 人財の強化

実施率 100%

高度化・多様化し続ける公共サービスの市民ニーズに応えるため、人材の育成や組織・機構の最適化を図ります。

- (1)-① 人材育成システムの構築
(人材育成研修 1,821名, 人事評価を勤勉手当に反映)
- (1)-② 専門職の養成・確保
(茨城県庁派遣研修2名, (株)電通派遣研修1名)
- (2)-② 多様な人材の確保による組織力の向上
(再任用職員の推移: H30: 23名, R1: 23名) など

3. 協働によるまちづくりの推進

実施率 91.6%

市民・企業・大学等とパートナーシップを構築し、協働によるまちづくりを推進します。

- (1)-① 協働のまちづくり条例の推進
(地域の未来を創る有識者会議の開催)
- (2)-② 多様な施設管理・運営制度の活用
(「青山フラワーマーケット」を店舗展開している
New (株)パーク・コーポレーションがJVを組み、
茨城県フラワーパークの運営に参入)
- (3)-① 市民との対話の充実
(タウンミーティングの開催8回)
など

4. 行政サービスの最適化

実施率 100%

業務の増加が見込まれる中、市民視点からサービスの向上と利便性を図るため、行政サービスの内容・提供方法について最適化を目指します。

- (2)-① 総合窓口機能の充実
(休日開庁実施, 本庁舎の窓口機能集約化,
本庁舎と支所の多目的ホールの一般利用の促進)
- (2)-② 電子申請サービスの拡大
New (H29: 100件 → R1: 1,613件)
- (3)-⑤ 市民に分かりやすい予算書・財務書類の作成と公表
New (広報紙の掲載にカラーの図表・グラフを多用)
など

※4つの枠内の番号は、実施計画の取組方針、取組項目、実施項目と一致します。

詳しくは、行財政改革実施計画「令和2年度見直し版」をご覧ください。